

地域医療情報

■問合先／企画課（☎58-5111-751311代表）

新中核病院および県西総合病院の整備運営について

平成26年3月に桜川市・筑西市の両市で、新中核病院は筑西市で整備運営し、県西総合病院は桜川市で整備運営するなどと合意し、同年4月号の本紙で市民の皆様にお知らせしたところです。

その合意に基づき、本市では桜川市単独での県西総合病院の整備運営を念頭に、財源確保や経営形態の変更・経営の改革改善など、様々な角度から検討してきました。

しかし、その後、国がこの合意事項を、地域の医師確保および救急医療の確保などを目的とした公立病院の再編統合と捉えられないと判断したことにより、交付金および病院事業債の活用や交付税措置などの財政的支援に極めて厳しい姿勢を示しました。

これを受け、改めて、少ない医療資源の有効活用・桜川市・筑西市の両市の皆様の医療確保



1月15日、筑西市役所で基本的合意事項について、記者発表を行う大塚市長（写真左）と須藤筑西市市長（写真右）

域の医療を守ることにつながると考え、更なる検討を重ねてきました。

結果、県西総合病院および筑西市民病院・山王病院の3病院を再編統合し、筑西市内に新中核病院を、桜川市内に新たな市立病院を整備することが唯一の方法と判断し、その方針を基に、病院関係者・筑西市・県・市議会などとの協議を経て、本年1月15日に両市間で下記のとおり基本的事項について合意したものです。

保・両市の将来にわたる財政負担の軽減などを基本に、国からの財政支援を最大限に活用することが将来的にも本

本紙や市ホームページなどでお知らせします。市民の皆様のご理解のほどよろしくお願ひします。

桜川市と筑西市との基本的合意事項

3病院による再編統合

筑西市民病院および県西総合病院に山王病院を加え再編統合することにより、新たに新中核病院を整備し、併せて、桜川市立病院を整備する。

整備場所

・新中核病院／筑西市養蚕地区（候補地）

・桜川市立病院／桜川市内（今後の検討会議で協議）

病床数と機能

・新中核病院／250床程度
急性期を中心

・桜川市立病院／120床程度、回復・維持期を中心

整備と運営

・新中核病院／筑西市が整備運営は地方独立行政法人

・桜川市立病院／桜川市が整備、運営は民間の医療法人へ指定管理（予定）

スタッフ（医療・事務）

・新中核病院／筑西市民病院および県西総合病院のスタッフを統合し、両者を中心に構成（今後の建設推進協議会で協議）

・桜川市立病院／民間医療法人のスタッフを中心に構成（今後の検討会議で協議）

【再編統合前（現状）】

病院名	許可病床数	実稼働病床数	1日の平均入院数	常勤医師数
県西総合病院	299	192	114	13
筑西市民病院	173	50	30	6
山王病院	79	79	69	3
合計	551	321	213	22

※許可病床数／病院開設に当たり許可された病床数
※稼働病床数／許可病床数から休眠病床数を差引いた実際の稼働病床数

※1日の平均入院数／平成25年度の実績

【再編統合後（予定）】

病院名	想定病床数	想定常勤医師数
新中核病院	250	35
新しい桜川市立病院	120	10
合計	370	45

※非常勤医も含め、実際の医師数は、新病院で担う診療科により変わります。

※3病院全体の許可病床数を見ますと統合前と後では、181床の減になります。実際の稼働病床数では約50床多くなります。